

# 災害協定を締結

全国上下水道コンサル協会と 札幌市

札幌市と一般社団法人全国上下水道コンサル協会（17社）は7日、市役所本庁舎で災害協定を締結した。災害が発生した際は、下水道施設の被害拡大防止や早期復旧に協力する。同協会が自治体と協定を結ぶのは、道内で初。協定では、市が管理する下水道施設が被災した

場合などに、同支部の加盟企業が被害状況の調査や応急復旧、災害査定資料作成といった業務に関して技術支援をするなどしている。締結式に臨んだ吉岡亨副市長は「昨年の熊本地震や台風の北海道上陸など協定を結んだ吉岡副市長と佐藤支部長（左）



に触れ、「札幌市でもいつ災害が起こるか分からない。熊本でも支援活動の実績がある水コン協

定が締結できたことは心強い。市民の安全安心に向けてしっかりと取り組みたい」と述べた。

同会北海道支部の佐藤謙二支部長は、これまでの活動を振り返り、熊本地震で協会として初めて協定に基づく支援を実施したことなどを説明。「札幌市との協定により、市民の生活を守ることに協力できて光栄。これまで培った専門的技術で、安全安心の一端を担う」と決意を示した。

り、熊本地震で協会として初めて協定に基づく支援を実施したことなどを説明。「札幌市との協定により、市民の生活を守ることに協力できて光栄。これまで培った専門的技術で、安全安心の一端を担う」と決意を示した。

ることに協力できて光栄。これまで培った専門的技術で、安全安心の一端を担う」と決意を示した。